マナビエ
MANABIE

記述の設計図　第4部 4つの型

U09　言いかえ型(どういうことか)

ベーシック

対象:小学5年・偏差値55〜60

1. 要点(ルール)
2. 例題　物語文「五人目のキッカー」
3. 練習1・練習2(解答らんつき)
4. 解答と採点表

要点　言いかえ型のルール

R09-1　「どういうことか」は言いかえ型

「どういうことですか」「どういう意味ですか」「どのような〇〇ですか」「何を指しますか」と聞かれたら、――線部を、別のわかりやすい言葉で説明する問題。理由（なぜ）を聞かれているのではない。

R09-2　区切る

――線部を、意味のかたまりごとに「／」で区切る。区切った部分は、全部答えに入れる。一つでもぬけると、その部分の点が入らない。

R09-3　自分の言葉にするのは3つだけ

①たとえ（「重い石」「借りてきたネコ」）②指示語（これ・その・この）③具体例（セリフ・出来事）。この3つは、そのまま書いても説明にならないので言いかえる。それ以外は、なるべく本文の言葉を使う。

R09-4　指示語は「前から探して、当てはめる」

①指示語のある一文から、中身を予想する ②指示語の前から探す（まれに後ろ）③見つけた中身を指示語の所に入れて読み、意味が通るかを確かめる。通らなければ②にもどる。

R09-5　中身の点検が先、文末は最後

文の終わりを「～ということ。」にしただけでは、言いかえにならない。先に、――線部の言葉をくり返していないか、たとえ・指示語が残っていないかを点検する。文末は最後に、問いに合わせる（どういうこと→「～こと。」／どのようなしくみ→「～しくみ。」）。

R09-6　採点表で見直す

答えは「区切った部分ごとの点」で採点される。たとえ・指示語を言いかえていない部分は点にならない。字数を1字でもこえると、採点されないことが多い。

ルールの番号（R09-〇）は、講座全体の通し番号です。動画・Webページ・このPDFで同じ番号を使っています。

例題　物語文「五人目のキッカー」

① 日曜日のサッカーの試合は、一対一のまま終わり、PK戦にもつれこんだ。五人目のキッカーは、リクだった。リクがけったボールは、ゴールの上を大きくこえていった。チームは負けた。

② 帰りのバスの中で、リクは一言も話さなかった。ぼくが外さなければ、みんなは勝てたのに。明日、どんな顔でみんなに会えばいいのだろう。そう考えるたびに、胸の中に重たいものがしずんでいくようだった。

③ バスをおりて歩き出すと、キャプテンのケイが走って追いかけてきた。

④ 「リク、待てよ。」

⑤ リクは立ち止まったが、ふり向くことができなかった。

⑥ 「五人目はおまえがけるって、みんなで決めたんだ。だから、あのPKはチームみんなのPKだよ。負けたのも、みんなでいっしょに負けたんだ。」

⑦ ケイはそう言って、リクのかたをぽんとたたいた。

⑧ その一言で、リクの胸の中にあった重い石が、すっと消えた。リクはようやく顔を上げて、「うん」とうなずいた。

⑨ 家に帰ると、リクはどろだらけのスパイクを、げんかんでていねいにみがきはじめた。

問　――線部「その一言で、リクの胸の中にあった重い石が、すっと消えた」とありますが、どういうことですか。六十字以内で説明しなさい。

解き方

1. **手順1　どの型？**
   「どういうことですか」＝言いかえ型(R09-1)。なぜ消えたのか(理由)を聞かれているのではない。――線部を、わかりやすい言葉で説明する。
2. **手順2　区切る**
   「その一言で／リクの胸の中にあった重い石が／すっと消えた」の3つに区切る(R09-2)。3つとも答えに入れる。
3. **手順3　言いかえる部分を決める**
   「その一言」は指示語、「重い石」はたとえ。この2つは、そのままでは説明にならないので言いかえる(R09-3)。「すっと消えた」も「なくなった」とわかりやすくする。
4. **手順4　指示語を前から探す**
   「その一言」＝⑥段落のケイの言葉。セリフ(具体例)は写さずに「負けはチームみんなの負けだ」とまとめる。当てはめて読むと「負けはみんなの負けだというケイの言葉で、重い石が消えた」→意味が通る(R09-4)。

5. **手順5　たとえの中身を本文から取る**

「重い石」＝②段落の「胸の中に重たいものがしずんでいく」気持ち。中身は「自分が外したせいで負けた」「明日みんなに会うのがつらい」。本文の言葉を使って言いかえる。

6. **手順6　文末は最後に**

できた文から「ということ」を取って読み、――線部の言葉（重い石・消えた）のくり返しになっていないかを点検してから、「～ということ。」で終える（R09-5）。

要素表（材料を集める）

要素	中身	根拠	入れる？
① その一言で（指示語）	負けはチームみんなの負けだとケイに言われて	⑥	◎ 入れる
② 重い石（たとえ）	自分が外したせいで負けた、みんなに会うのがつらいという気持ち	②	◎ 入れる
③ すっと消えた	なくなった（軽くなった）	⑧	○ 入れる
根拠なし	ケイと親友になれた／次はぜったい決めようと決心した	なし	× 入れない

模範解答

模範解答　58字／60字以内

負けはチームみんなの負けだとケイに言われて、自分が外したせいで負けたというリクのつらい気持ちがなくなったということ。

採点表

採点表（要素ごとの配点）	点
② たとえ「重い石」の言いかえ：自分が外したせいで負けたというつらい気持ち	5点
① 指示語「その一言」の中身：負けはチームみんなの負けだ（ケイの言葉）	3点
③「消えた」を「なくなった・軽くなった」と言いかえている	1点
文末が「～ということ。」・だれの気持ちかがはっきりしている	1点
合計	**10点**

減点の型(こう書くと)	何点になる？ なぜ？
「リクの胸の中の重い石が消えたということ。」	――線部をくり返して、文末を「ということ」にしただけ。言いかえになっていないので、中身は0点(10点中1点)。
「ケイの一言で、安心したということ。」	指示語「一言」の中身も、何がなくなったのかも書いていない。10点中2点。
「ケイと親友になれて、うれしかったということ。」	本文に書いていない(根拠なし)。その部分は0点。
「～気持ちがなくなったから。」	文末が理由の形。言いかえ型の問いに合っていない。1点引く。
六十一字以上	字数オーバー。採点されないことが多い(0点)。

練習1　説明文「こおらない足」

① 南極にすむペンギンは、氷の上に何時間も立っていることがある。氷の温度は、マイナス二十度より低くなることもある。それなのに、ペンギンの足がこおりついてしまうことはない。

② ペンギンの体の中には、あたたかい血が流れている。もし、そのあたたかい血が、そのまま足の先まで流れていったら、足から氷へ、熱がどんどんにげていってしまう。そうなると、体全体が冷えてしまう。

③ ペンギンの足のつけねでは、足へ向かう血管と、足から体へもどってくる血管が、ぴったりとならんでいる。足へ向かうあたたかい血は、となりを流れるもどりの冷たい血に熱をわたしてから、足の先へ進む。足の先には少し冷えた血が届くので、氷ににげる熱は少しですむ。いっぽう、もどってくる冷たい血は、熱を受け取ってあたたまってから体にもどる。

④ このしくみのおかげで、ペンギンは体の熱をほとんどにがさずに、冷たい氷の上に立っていられるのである。同じようなしくみは、冷たい海を泳ぐクジラやイルカのひれにも見られる。

問　――線部「このしくみ」とありますが、どのようなしくみですか。五十字以内で説明しなさい。

① 要素表を書こう

区切った部分	言いかえ（なるべく本文の言葉で）	根拠の段落

② 答えを書こう

10　20
30　40
50

50字以内（1マスに1字。句読点も1字）

練習2　物語文「おばの家の三日間」

① ナツキは、クラスでいちばんのおしゃべりだ。休み時間には、いつも友だちの輪のまん中で、大きな声で笑っている。家でも、夕ごはんのあいだじゅう学校の話をしつづけるので、母に「少しは静かに食べなさい」と言われるほどだ。

② 夏休み、ナツキは一人で、遠くの町に住むおばの家に、三日間とまることになった。おばの家には、高校生のいとこが二人いる。会うのは、小さいころ以来だった。

③ 着いた日の夕ごはんは、テーブルいっぱいのごちそうだった。いとこたちは、部活や友だちの話でにぎやかにもり上がっている。ナツキは、何を話せばいいのかわからなかった。「おいしい？」と聞かれても「はい」と小さく答えるだけで、あとはテーブルのはしに、ちょこんとすわっていた。

④ その夜、母から電話がかかってきた。おばは電話口で、笑いながら言った。

⑤ 「ナツキちゃん、うちでは借りてきたネコのようよ。本当に、あのおしゃべりのナツキちゃん？」

⑥ 電話のむこうで、母がふき出すのが聞こえた。

問　――線部「借りてきたネコのよう」とありますが、どういうことですか。五十字以内で説明しなさい。

① 要素表を書こう

区切った部分	言いかえ（なるべく本文の言葉で）	根拠の段落

② 答えを書こう

									10										20
									30										40
									50										

50字以内（1マスに1字。句読点も1字）

解答と採点表

練習1　説明文「こおらない足」

解き方

1. **手順1　指示語の問題**
   「このしくみ」の「この」は指示語。指示語の中身を言いかえる問題（R09-4）。区切る必要はない。
2. **手順2　一文から予想する**
   「このしくみのおかげで、体の熱をほとんどにがさずに立っていられる」→熱をにがさないためのしくみらしい、と予想する。
3. **手順3　前から探す**
   すぐ前の③段落に、足へ向かう血ともどる血がならび、あたたかい血が冷たい血に熱をわたす、と書いてある。後ろの「クジラやイルカ」は、同じしくみがほかにもあるという話で、中身ではない。
4. **手順4　当てはめて読む**
   「あたたかい血がもどる冷たい血に熱をわたすしくみのおかげで、熱をにがさずに立っていられる」→意味が通る。
5. **手順5　文末は問いに合わせる**
   「どのようなしくみですか」なので「～しくみ。」で終える（R09-5）。「～ということ。」にしなくてよい。

要素表

要素	中身	根拠	入れる？
指示語「この」の中身	足へ向かうあたたかい血が、もどってくる冷たい血に熱をわたす	③	◎ 入れる
どこで	足のつけねで、足へ向かう血管ともどる血管がならんでいる	③	○ 入れる
その結果	足の先に届く血が冷えているので、氷ににげる熱が少ない	③④	○ 入れる
わな	クジラやイルカのひれにもある（後ろの文）	④	× 入れない

模範解答

模範解答　50字／50字以内

足のつけねで、足へ向かうあたたかい血が、ならんでもどる冷たい血に熱をわたし、にげる熱をへらすしくみ。

採点表

採点表(要素ごとの配点)	点
中身:足へ向かうあたたかい血が、もどる冷たい血に熱をわたす	5点
場所:足のつけね(足へ向かう血ともどる血がならぶ)	3点
結果:氷ににげる熱が少なくなる(熱をにがさない)	1点
文末が「〜しくみ。」	1点
合計	**10点**

減点の型(こう書くと)	何点になる？ なぜ？
「ペンギンの足がこおらないしくみ。」	——線部のまわりの言葉をくり返しただけ。何が起きているのか(中身)が無い。1点。
「血管がならんでいるしくみ。」	ならんでいるだけでは、何のためかわからない。熱をわたす5点が入らない。3点。
「クジラやイルカのひれにもあるしくみ。」	後ろの文から取った。中身ではない。0点。

練習2　物語文「おばの家の三日間」

解き方

1. **手順1　たとえ(慣用句)を見つける**
   「借りてきたネコのよう」は、よその家につれてこられたネコのように、ふだんとちがっておとなしくしている様子を表すたとえ(R09-3①)。
2. **手順2　区切る**
   「(ナツキは)／うちでは／借りてきたネコのよう」。だれが・どこで・どんな様子か、の3つを入れる。
3. **手順3　本文で確かめる**
   ③段落:何を話せばいいのかわからず、「はい」と小さく答えるだけで、はしにちょこんとすわっていた。①段落:ふだんはクラスでいちばんのおしゃべり。⑤段落の「本当に、あのおしゃべりの」も、ふだんとのちがいを言っている。
4. **手順4　文末は最後に**
   「ネコのようにおとなしい」と、たとえを残したままにしない。たとえを取って読んで意味が通るかを点検してから、「〜ということ。」で終える。

要素表

要素	中身	根拠	入れる？
たとえ「借りてきたネコのよう」	ほとんど話さず、小さくなっておとなしくしている	③	◎ 入れる
ふだんとのちがい	ふだんはクラスでいちばんのおしゃべり	①⑤	○ 入れる
どこで(うちでは)	なれていないおばの家では	②④⑤	○ 入れる
とりちがえ	ネコのようにかわいい／ネコが好き	なし	× 入れない

模範解答

模範解答　48字／50字以内

ふだんはおしゃべりなナツキが、なれないおばの家では、ほとんど話さずおとなしくしているということ。

採点表

採点表(要素ごとの配点)	点
たとえの言いかえ:ほとんど話さず、おとなしくしている	5点
ふだんとのちがい:ふだんはおしゃべりなのに	3点
どこで:なれていないおばの家では	1点
文末が「～ということ。」	1点
合計	**10点**

減点の型(こう書くと)	何点になる？ なぜ？
「ナツキが、借りてきたネコのようだということ。」	たとえのまま。文末を変えただけで、言いかえになっていない。0点。
「ナツキが、ネコのようにかわいかったということ。」	たとえの意味をとりちがえた。0点。
「おばの家でおとなしくしていたということ。」	ふだんとのちがいが無い。「借りてきた」の意味(ふだんとちがう)が半分しか言えていない。6点。

マナビエ
MANABIE

記述の設計図　U09 言いかえ型(ベーシック)

© MANABIE　無断転載・複製・改変・再配布を禁じます